

## バトルフィーバー J (1979~1980)

メディア TV

ジャンル 特撮 アクション ヒーロー

製作国 日本

色彩 Color

1979/02/03 ~ 1980/01/26

TV放映

土曜日

18:00~18:30

テレビ朝日

## 【解説】

スーパー戦隊シリーズ第1作（“戦隊シリーズ”あるいは“超世紀全戦隊”と呼ぶ場合は『秘密戦隊ゴレンジャー』『ジャッカー電撃隊』も含める）。秘密結社エゴスの暗躍に対して、国防省の倉間鉄山将軍率いる5人のバトルフィーバー隊が強化服を装着、巨大ロボットを操縦して戦う。

『サタデーナイトフィーバー』などのダンス映画がブームの頃で、5人は各国のダンスと武道を身につけているという設定だった。アニメ『闘将ダイモス』の後番組だが、製作体制としては東京12チャンネル放映の『スパイダーマン』の跡を継ぐ形となり、米国マーヴル・コミックス・グループとの提携を活かしてキャラクターが作られた（実際の作品にはほとんど反映されていないが）。

途中、ヘッダー指揮官役が潮建志から石橋雅史へ交代、『ジャッカー電撃隊』のアイアンクローに優るとも劣らぬ濃い怪演を見せてくれた。また戦隊もので初めてヒーローが破れ、倉間鉄山自らが白足袋で参上、怪人を一刀のもとに切り捨てるというエピソードも忘れ難い。現在の戦隊もののフォーマットに至る試行錯誤の跡が見られ、散漫な印象は拭えないが、その分バラエティ豊かになった内容に魅かれるファンも多い。『秘密戦隊ゴレンジャー』とはまたちがった意味で、ハードさとバカバカしさが混在するヒーロー番組である。

## 【クレジット】

監督	竹本弘一 広田茂穂 山田稔 平山公夫	
プロデューサー	落合兼武 吉川進 折田至	(テレビ朝日)
原作	八手三郎	
脚本	高久進 上原正三 江連卓 曾田博久	
キャラクター制作	エキスプロダクション	
キャラクターデザイン	久保宗雄	(企画者104)
撮影	加藤弘章	
特撮監督	矢島信男 佐川和夫	
視覚効果	デン・フィルム・エフェクト	

美術	井上明		
音楽	渡辺宙明		
アクション	新堀和男		(J A C)
	橋本春彦		(J A C)
	小牧りさ		(J A C)
	喜多川務		(J A C)
技斗	高橋一俊		(ビッグアクション)
特技・操演	鈴木昶		((株)特撮研究所)
特技・美術	大澤哲三		((株)特撮研究所)
特技・撮影	高橋政千		((株)特撮研究所)
アクション	古賀弘文		(J A C)
	小野寺えい子		
ナレーター	大平透		
出演	谷岡弘規	伝正夫／バトルジャパン	
	伊藤武史	白石謙作／バトルコサック	
	倉地雄平	志田京介／バトルフランス	
	大葉健二	曙四郎／バトルケニア	
	ダイアン・マーチン	ダイアン・マーチン／ミスアメリカ	(～24話)
	東千代之介	倉間鉄山 (国防省将軍)	
	伊東範子	中原ケイコ	
	司ゆり	青葉ミドリ	
	佐藤たくみ	中原マサル	
	吉宮慎一	浜村昭夫	
	デビッド・フリードマン	ダイアンの父	
	石橋雅史	ヘッダー司令官 (二代目)	
	潮建志	ヘッダー司令官	
	伴直弥	神誠／バトルコサック (二代目)	
	マキ上田	サロメ	
	萩奈穂美	汀マリア／ミスアメリカ (二代目)	(25話～)
	飯塚昭三	サタンエゴスの声	
	鹿沼えり		
	河合弦司		
	加地健太郎		
	相馬剛三		
	宇乃壬麻		
	高野隆志		
	渥美博		
	中村裕		
	湯浅洋行		

Kenji Ohba

湧川吉雄  
内田正之  
知久博